



▲新たに村内に設置されたモニタリングポスト

『飯館村モニタリングポスト線量マップ』
村ホームページ・村配布タブレットで
見られます。

村ホームページで見る場合

村ホームページトップ画面に専用バナーを
設置しています。

タブレットで見る場合

タブレットホーム画面の放射線情報に掲載
しています。

3月16日、村が国の再生加速
化交付金を活用して設置したモ
ニタリングポストの運用開始に
あたり、村役場本庁舎でセレモ
ニーが行われました。

新たにモニタリングポストを
設置したのは、除染廃棄物を保
管する仮置き場等と民有地の境
を中心とした88か所で、地上1
メートルの空間線量を、10分お
きに測定します。測定値は、現
場で表示される他、村のホーム
ページ及びタブレット端末から
も確認することができます。



▲帰村後の農業について、皆で学びを深めました

農と暮らしを学ぶ
村農業委員会

村農業委員会からのお知らせ
相馬地方農業共済組合推薦
の山田猛史農業委員（関根・
松塚）が退任され、3月1日
付で齋藤耕一さん（深谷）が
就任しましたのでお知らせし
ます。任期は平成30年7月7
日までです。

3月23日、村役場飯野出張所
において、飯館村農業委員会主
催により震災直後に村へ派遣さ
れていた国際農林水産業研究セ
ンター・万福裕造技術促進科長
を講師に学習会が開かれました。
会では、村をはじめとする被災
自治体の農業再生の状況や、万
福さんの研究や活動をもとに農
業と暮らしについて講演があり
ました。

万福さんは「今後は、村民と
行政との1対1の丁寧な話し合
いが大切。10年後の村をどうし
ていきたいかを考えることが大
切だろう」と村農業復興への取
り組みについて語りました。参
加者からは、帰村後の農地管理
や村の汚染状況等について質問
がありました。

平成27年度 村内で行われた 実証栽培、試験栽培の 結果をお知らせします

平成27年度、村が村内の除染後農地で米の実証栽培と野菜の試験栽培を行いました。伊丹沢・小宮の2か所で米の実証栽培並びに草野での野菜の試験栽培を実施しました。

これらの収穫物を検査した結果、全ての米・野菜について、一般食品中の放射性物質の基準値（1キログラムあたり100ベクレル）を下回りました。また、伊丹沢字山田地内の実証田60aのうち30aでは、ため池からの水を使ってひとめぼれとコシヒカリを栽培しましたが、全袋（全量）検査をした結果、他の実証米と同様に検出限界値（1キログラム当たり25ベクレル）未満でした。なお、平成27年9月の大雨で米・野菜の作付ほ場に水路等から水が流入しましたが、作物へのセシウムの移行は見られませんでした。

実証栽培したコメは、環境省や消費者安全局で使用され、PRイベント等でも無料配布される予定です。また、試験栽培された野菜は、検査用サンプルを除いて全量廃棄されました。食品放射能の分析結果は下記のとおりです。

平成27年度 実証栽培・試験栽培作物の食品放射能分析結果

（食品放射能の単位：ベクレル/キログラム）

品 目	栽培場所	実施主体	食品放射能 (カッコ内は検出限界値)	実証内容
米	伊丹沢字山田	村	検出されず (ND < 25)	セシウムの吸収抑制対策 (カリウム施肥)
米	小宮字仲ノ内			
キュウリ(ハウス栽培)	草野字向押	村	検出されず (ND < 20)	セシウムの吸収量の経年調査、 地力・収量調査
ナス(ハウス栽培)			検出されず (ND < 19)	
カボチャ(露地栽培)			検出されず (ND < 19)	
ソバ(露地栽培)			検出されず (ND < 32)	
ミニトマト(ハウス栽培)			検出されず (ND < 26)	
ハクサイ(露地栽培)			検出されず (ND < 23)	
ダイコン(上部)(露地栽培)			検出されず (ND < 17)	
ダイコン(中部)(露地栽培)			検出されず (ND < 13)	

※「セシウム」とは放射性セシウム134(半減期2年)、同137(半減期30年)を意味します。
※検出限界値は測定機の性能や、検査室の室温等に左右され、測定ごとに異なります。
※NDとは、「Not Detected(未検出)」の意味で、検出限界値未満のことを言います。

問：復興対策課農政係(村役場本庁舎) ☎ 0244-42-1621